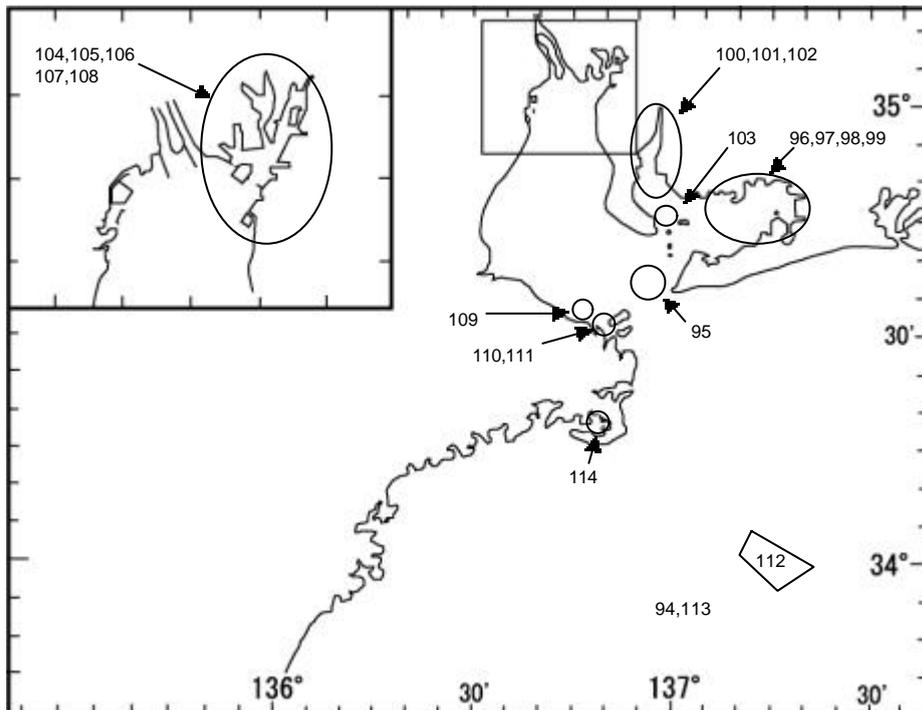


四管区水路通報第 5 号

平成 14 年 2 月 6 日

第四管区海上保安本部

第 94 項	北太平洋北西部	海底地形調査区域変更
第 95 項	本州南岸	中山水道及び伊良湖水道
第 96 項	本州南岸	三河港南部
第 97 項	本州南岸	三河港北部
第 98 項	本州南岸	三河港北部
第 99 項	本州南岸	渥美湾、東幡豆港
第 100 項	本州南岸	衣浦港
第 101 項	本州南岸	衣浦港
第 102 項	本州南岸	衣浦港
第 103 項	本州南岸	師崎水道、日間賀島北方
第 104 項	名古屋港	東航路
第 105 項	名古屋港	第 2 区
第 106 項	名古屋港	第 3 区
第 107 項	名古屋港	第 3 区
第 108 項	名古屋港	第 4 区及西航路
第 109 項	伊勢湾	桃取水道、二見浦
第 110 項	本州南岸	鳥羽港
第 111 項	本州南岸	鳥羽港
第 112 項	本州南岸	大王崎南東方
第 113 項	本州南岸	熊野灘
第 114 項	本州南岸	英虞湾



14年94項

北太平洋北西部 海底地形調査区域変更

(四管区水路通報 14年 3号 44項 削除)

調査船「なつしま」による4000m級深海えい航カメラシステム「ディーブトゥカメラ」を用いた曳航調査は区域を変更して実施される。

期間
区域

平成14年2月15日～3月2日までの日出～日没

(調査海域)

下記7地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	32-45N	135-30E	32-45N	135-30E
(2)	33-00N	137-15E	33-00N	137-15E
(3)	33-40N	138-20E	33-40N	138-20E
(4)	34-30N	137-55E	34-30N	137-55E
(5)	34-00N	136-35E	34-00N	136-35E
(6)	33-30N	136-10E	33-30N	136-10E
(7)	33-20N	135-30E	33-20N	135-30E

(「ディーブトゥカメラ」探査測線)

1	下記2地点を結ぶ線上				
	(8)	32-55N	135-47E	32-55N	135-47E
	(9)	33-00N	135-45E	33-00N	135-45E
2	下記2地点を結ぶ線上				
	(10)	33-12N	136-45E	33-12N	136-45E
	(11)	33-16N	136-43E	33-16N	136-43E
3	下記2地点を結ぶ線上				
	(12)	33-03N	136-27E	33-03N	136-27E
	(13)	33-05N	136-27E	33-05N	136-27E
4	下記2地点を結ぶ線上				
	(14)	33-05N	136-32E	33-05N	136-32E
	(15)	33-08N	136-30E	33-08N	136-30E
5	下記2地点を結ぶ線上				
	(16)	33-39N	136-28E	33-39N	136-28E
	(17)	33-42N	136-28E	33-42N	136-28E
6	下記2地点を結ぶ線上				
	(18)	33-50N	136-45E	33-50N	136-45E
	(19)	33-57N	136-45E	33-57N	136-45E
7	下記2地点を結ぶ線上				
	(20)	33-35N	136-39E	33-35N	136-39E
	(21)	33-44N	136-46E	33-44N	136-46E
8	下記2地点を結ぶ線上				
	(22)	33-45N	136-58E	33-45N	136-58E
	(23)	33-55N	137-01E	33-55N	137-01E
9	下記2地点を結ぶ線上				
	(24)	33-42N	137-28E	33-42N	137-28E
	(25)	33-55N	137-20E	33-55N	137-20E
10	下記2地点を結ぶ線上				
	(26)	34-09N	137-44E	34-09N	137-44E

海 図 (27) 34-01N 137-43E 34-01N 137-43E
出 所 1 0 0 1
海洋科学技術センター

1 4 年 9 5 項 本州南岸 - 中山水道及び伊良湖水道 灯浮標機器交換作業等

下記8基の灯浮標で機器交換作業及び機器調整作業が実施される。

期 間 平成14年3月4日～20日までの0800～1700

位 置 下記8地点

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)中山水道第一号灯浮標	34-34-55N 137-00-01E	34-35-07N 136-59-50E
(2)中山水道第二号灯浮標	34-35-15N 137-00-52E	34-35-27N 137-00-41E
(3)中山水道第三号灯浮標	34-35-47N 137-01-08E	34-35-59N 137-00-57E
(4)伊良湖水道航路第二号灯浮標	34-33-10N 137-01-25E	34-33-22N 137-01-14E
(5)伊良湖水道航路第三号灯浮標	34-34-09N 136-59-03E	34-34-21N 136-58-52E
(6)コズカミ礁灯浮標	34-33-02N 137-00-19E	34-33-14N 137-00-08E
(7)朝日礁灯浮標	34-33-54N 137-00-32E	34-34-06N 137-00-21E
(8)丸山出シ灯浮標	34-33-35N 136-59-45E	34-33-47N 136-59-34E

海 図 W 1 0 6 4 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1 - W 7 0

出 所 鳥羽海上保安部、蒲郡海上保安署

1 4 年 9 6 項 本州南岸 - 三河港南部 揚土作業

下記区域で揚土作業が実施される。

期 間 平成14年2月8日～3月31日までの日出～日没

区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-42-00.8N 137-15-21.6E	34-42-12.7N 137-15-10.9E
(2)	34-42-03.8N 137-15-28.4E	34-42-15.7N 137-15-17.7E
(3)	34-41-58.1N 137-15-32.2E	34-42-10.0N 137-15-21.5E
(4)	34-41-55.1N 137-15-25.3E	34-42-07.0N 137-15-14.6E

標 識 作業区域には黄灯付浮標及び赤白旗付竹竿を設置する。

海 図 W 1 0 5 7 B - W 1 0 5 2

出 所 三河港長

1 4 年 9 7 項 本州南岸 - 三河港北部 海上デッキ築造工事

下記区域で起重機船による海上デッキ築造工事が実施される。

期 間 平成14年2月9日～4月10日までの0800～1700

区 域 下記2地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	34-48-04.4N 137-17-01.1E	34-48-16.2N 137-16-50.3E
(2)	34-48-01.6N 137-17-02.4E	34-48-13.4N 137-16-51.6E

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W 1 0 5 7 A - W 1 0 5 2

出 所 三河港長

14年98項 本州南岸 - 三河港北部 灯浮標一時移設
三河港蒲郡第四号灯浮標(34-46-32N 137-13-11E 日本測地系、
34-46-43N 137-13-01E 世界測地系 WGS-84)は、現地点から真方位190度、
約250mの地点に一時移設される。
期 間 平成14年2月27日～3月26日まで
海 図 W1057A - W1052
出 所 四本部灯台部

14年99項 本州南岸 - 渥美湾、東幡豆港 水路測量等
下記区域で水路測量及び潜水調査作業が実施される。
期 間 平成14年2月14日～17日まで(予備日2月18日～20日)の日出～日没
区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-46-54.1N 137-10-17.1E 34-47-05.9N 137-10-06.4E
(2) 34-46-33.0N 137-10-17.1E 34-46-44.8N 137-10-06.4E
(3) 34-46-33.0N 137-10-09.2E 34-46-44.8N 137-09-58.5E
(4) 34-46-54.1N 137-10-09.2E 34-47-05.9N 137-09-58.5E
備 考 測量作業中、作業船は赤白旗を掲げる。
海 図 W1435
出 所 蒲郡海上保安署

14年100項 本州南岸 - 衣浦港 簡易灯付浮標交換作業
下記地点で簡易灯付浮標3基の交換作業が実施される。
期 間 平成14年2月14日～26日まで(内1日)の日出～日没
位 置 下記3地点
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-49-14.3N 136-56-51.7E 34-49-26.1N 136-56-41.0E
(2) 34-49-07.6N 136-56-50.0E 34-49-19.4N 136-56-39.3E
(3) 34-49-01.2N 136-56-48.4E 34-49-13.0N 136-56-37.7E
備 考 (1)潜水作業を伴う。
(2)警戒船を配備する。
海 図 W1056
出 所 衣浦港長

14年101項 本州南岸 - 衣浦港 橋梁灯補修工事
衣浦ポートアイランド橋脚で橋梁灯の補修工事が実施される。
期 間 平成14年2月15日～28日(内2日間)までの日出～日没
位 置 下記地点付近
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-49-30N 136-57-42E 34-49-42N 136-57-31E
海 図 W1056
出 所 衣浦港長

14年102項

本州南岸 - 衣浦港 起重機船作業等

下記区域で起重機船による積み込み作業が実施され、下図に示す経路で運搬される。

期 間

(区域1) 平成14年2月19日(予備日2月20日~26日)の日出~日没

(区域2) 平成14年2月20日(予備日2月21日~26日)の日出~日没

区 域 1

下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-52-23.7N 136-58-01.5E 34-52-35.5N 136-57-50.8E

(2) 34-52-32.9N 136-57-50.4E 34-52-44.7N 136-57-39.7E

(3) 34-52-39.8N 136-57-58.8E 34-52-51.6N 136-57-48.1E

(4) 34-52-34.3N 136-58-05.5E 34-52-46.1N 136-57-54.8E

2 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

(5) 34-53-10.1N 136-57-56.9E 34-53-21.9N 136-57-46.2E

(6) 34-53-06.4N 136-58-05.7E 34-53-18.2N 136-57-55.0E

(7) 34-52-59.2N 136-58-01.2E 34-53-11.0N 136-57-50.5E

(8) 34-53-02.9N 136-57-52.4E 34-53-14.7N 136-57-41.7E

備 考

警戒船を配備する。

海 図

W1056

出 所

衣浦港長



14年103項

本州南岸 - 師崎水道、日間賀島北方 潜水作業

下記地点で潜水土による海底状況調査が実施される。

期 間

平成14年2月15日~18日まで(予備日2月19日~21日)の日出~日没

位 置

下記3地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-43-15N 137-00-58E 34-43-27N 137-00-48E

(2) 34-43-10N 137-00-59E 34-43-22N 137-00-48E

(3) 34-43-06N 137-00-58E 34-43-18N 137-00-48E

海 図

W1054

出 所

衣浦海上保安署

14年104項 名古屋港 - 東航路 灯浮標一時移設
名古屋港東航路第三号灯浮標(34-57-54N 136-48-05E 日本測地系、
34-58-05N 136-47-54E 世界測地系 WGS-84)は、現地点から真方位214度、
約550mの地点に一時移設される。
期 間 平成14年2月27日～3月27日まで
海 図 W1055B - W95
出 所 四本部灯台部

14年105項 名古屋港 - 第2区 簡易灯付浮標修理作業
下記地点で簡易灯付浮標修理作業が実施される。
期 間 平成14年2月14日～22日(内1日)までの0800～1600
位 置 下記地点
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-02-35N 136-52-06E 35-02-47N 136-51-55E
備 考 (1)潜水作業を伴う。
(2)警戒船を配備する。
海 図 W1055A
出 所 名古屋港長

14年106項 名古屋港 - 第3区 岸壁補修工事
東海元浜ふ頭(南2区)F12バースで岸壁補修工事が実施されている。
期 間 平成14年3月12日までの0800～1700
位 置 下記地点付近
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-01-59N 136-52-05E 35-02-11N 136-51-54E
備 考 潜水作業を伴う。
海 図 W1055A
出 所 名古屋港長

14年107項 名古屋港 - 第3区 環境調査
次頁に示す区域で作業船によるクラゲ採取及び環境測定が実施される。
期 間 平成14年2月20日～8月31日(内8日間)までの日出～日没
海 図 W1055A
出 所 名古屋港長



14年108項

名古屋港 - 第4区及西航路 掘下げ作業

下記区域で掘下げ作業が実施される。また、灯浮標を移設・復旧するために、区域を一時変更する。

期 間

平成14年7月15日までの日出～日没

(灯浮標移設～復旧)平成14年3月19日～25日まで

区 域 1

下記5地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)	35-01-04.6N	136-49-44.1E	35-01-16.3N	136-49-33.4E
(2)	35-00-55.4N	136-49-46.5E	35-01-07.1N	136-49-35.8E
(3)	35-00-54.7N	136-49-42.6E	35-01-06.4N	136-49-31.9E
(4)	35-00-54.7N	136-49-20.5E	35-01-06.4N	136-49-09.8E
(5)	35-01-00.2N	136-49-19.1E	35-01-11.9N	136-49-08.4E

(灯浮標移設～復旧の間)

2 下記7地点により囲まれる区域

(6)	35-01-04.6N	136-49-44.1E	35-01-16.3N	136-49-33.4E
(7)	35-00-55.4N	136-49-46.5E	35-01-07.1N	136-49-35.8E
(8)	35-00-54.7N	136-49-42.6E	35-01-06.4N	136-49-31.9E
(9)	35-00-54.7N	136-49-20.5E	35-01-06.4N	136-49-09.8E
(10)	35-00-56.4N	136-49-20.1E	35-01-08.1N	136-49-09.4E
(11)	35-00-55.5N	136-49-15.1E	35-01-07.2N	136-49-04.4E
(12)	35-00-59.3N	136-49-14.1E	35-01-11.0N	136-49-03.4E

備 考

警戒船を配備する。

海 図

W1055A

出 所

名古屋港長

14年109項 伊勢湾 - 桃取水道、二見浦 地質調査

下記地点でボーリングによる地質調査が実施されている。

期間 平成14年2月11日～3月1日までの日出～日没

区域 下記地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-30.4N 136-46.8E

34-30.6N 136-46.6E

標識 ボーリングやぐらに昼間は赤旗、夜間はやぐらの四隅に標識灯を設置する。

海図 W1053 - W1051

出所 鳥羽海上保安部

14年110項 本州南岸 - 鳥羽港 小型船舶操縦訓練

下図に示す区域で小型船舶操縦訓練が実施されている。

期間 平成14年2月21日までの0900～1630

標識 訓練区域にオレンジ色ブイを3基設置する。

海図 W73

出所 鳥羽海上保安部



14年111項 本州南岸 - 鳥羽港 護岸改修工事

下記区域で護岸改修工事が実施されている。

期間 平成14年2月12日～3月27日まで

区域 下記位置を中心とする半径120mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-28-54.8N 136-50-54.7E

34-29-06.7N 136-50-44.1E

海図 W73

出所 鳥羽海上保安部

14年112項 本州南岸 - 大王埼南東方 海底線修理作業

下記区域で海底線修理作業が実施されている。

期間 平成14年2月12日まで(予備日2月13日～15日)

「四管区水路通報」に関する問い合わせ先

第四管区海上保安本部 水路部 監理課 函誌係

〒455-8528 名古屋市港区入船2-3-12

名古屋港湾合同庁舎(6階)

TEL 052-661-1611(内線315)

FAX 052-654-2536(FAXサービス兼用)

E-mail zushi4@cue.jhd.go.jp

第四管区海上保安本部水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN4/index.htm>

海上保安庁水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

また、FAXによるポーリングサービスも行っています。

FAX番号は『052-654-2536』です。

なお、IDコードやパスワードは設定していません。

(ポーリング受信のモードで、上記番号にアクセスします。機種によってはパスワードの入力を求められますが、その際は適当な4桁の数を入力します。)

日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系(WGS84)の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

1 平成14年3月までは・・・

- ・我が国の海図のうち、日本及びその周辺海域の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成12年4月からは世界測地系で刊行しており、平成14年3月末までに、全て世界測地系海図へ移行されます。
- ・日本測地系海図によるものと世界測地系海図による海図が混在しますので、使用に際しては海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を一致させるなど十分注意されるようお願いいたします。
- ・従来の日本測地系海図は、平成13年10月から段階的に廃版され、平成14年3月末までに全て廃版となります。
- ・水路通報及び航行警報の位置表示は、日本及びその周辺海域については原則として日本測地系と世界測地系を併記することとしています。ただし、入手情報のうち測地系が明らかでない場合、また緊急に知らせる必要がある漂流物等については、「測地系不明」として提供する場合があります。

2 平成14年4月以降は・・・

- ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は、全て使えなくなります。
- ・水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

このため、

下図の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、同14年3月改版予定)を参照のうえ、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、別途毎週の水路通報などでお知らせすることとしています。

廃版予定海域及び時期

時期 平成13年10月～11月

東京湾
伊勢湾及び付近
大阪湾及び紀伊水道
瀬戸内海
本州南岸
四国南岸

時期 平成13年11月～14年3月

九州沿岸
本州北西岸

時期 平成13年12月～14年3月

北海道沿岸

時期 平成14年1月～2月

本州東岸

時期 平成14年1月～3月

南方・南西諸島

(注) 以上の他、番号5000台の海図及び一部の海図の中には廃版されていないものもありますので、詳細は水路図誌目録を参照して下さい。

